

# 仲西 神森 に栄冠

(女子) (男子)

## ハンドボール

### 八重瀬町長杯中学秋季

ハンドボールの第12回八重瀬町長杯争奪第37回県中

学校秋季大会最終日は3日、東風平運動公園体育館で男女の決勝までを行い、女子仲西が美東に22-18で逆転勝ちし、2年ぶり9度

目の栄冠に輝いた。男子は日、東風平運動公園体育館で男女の決勝までを行い、し4年連続13度目の頂点に立った。

【男子】  
▽連決勝  
仲西 31-27 宮里  
神森 46-14 浦添  
▽第3シード決定戦  
宮里 28-25 浦添

【女子】  
▽連決勝  
仲西 24-16 東風平  
美東 37-16 昭葉付  
▽第3シード決定戦  
東風平 27-19 昭葉付  
▽決勝  
仲西 22-11 美東

女子決勝 仲西-美東 後半5分、仲西の松本莉乃が15点目のシュートを決める。東風平体育館(田嶋正雄撮影)



▽決勝	神森 43	21	22	24	仲西
▽連決勝	仲西 24	16	東風平		
▽第3シード決定戦	美東 37	16	昭葉付		
▽決勝	東風平 27	19	昭葉付		
▽連決勝	仲西 31	27	宮里		
▽第3シード決定戦	神森 46	14	浦添		
▽決勝	宮里 28	25	浦添		



女子優勝の仲西

## 速いパスで圧倒 神森

全国中学総体で3位に食い込んだ男子神森が、県内負けなしの強さを発揮。同じ浦添勢の仲西を43-24で退け、4連覇を果たした。コートを広々と使い、前半から飛ばした。スピードに乗った速いパスワークから根間光裕寿、照屋拓実ら得点源が次々とシュートを

は「選手間でプレーには差もあるが、チーム一丸となつてやらなければ」。互いに刺激し合いながら、強さに磨きをかけていく。

### 昭葉付女子

### 初の県4位

○…女子3位決定戦で東

風平に敗れた昭葉付は、創部以来で最高という県大会4位の成績。2回戦では強敵の神森を、逆転に次ぐ逆転で19-16で破った。準決勝は美東に敗れ、3位決定戦も前半までは2点差で踏ん張ったが、後半に突き放された。主将の小渡有里は「ミスから崩れた」と悔しがったが、県内ベスト4には「うれしい」と笑顔。「これまで先輩たちの8強が最高だったので、一つ上に行けた。次は3位以内」と新たな目標を掲げた。

## パスカットで勢い 仲西

「走ってこい！」。女子決勝、前半途中のタイムアウトで、仲西の長嶺重信監督の声が飛んだ。開始早々から立て続けの速攻で5とリードされ「仕切り直させたくて」と長嶺監督。選手らはコートの端まで2度のダッシュで気合を入れたが、追う展開のまま11-14で前半を終えた。GKの宮城優稀主将は「みんな少し焦っていた。何とかしないと、それぞれが考えた。速攻狙いのロングパスをカットすることを意識して相手の流れを断ち切ると、点差は少しずつ近づいた。後半13分、センター砂川茉穂がゴール正面から同点弾を打ち、続く7分スローで逆転。川満彩音はDFの隙を縫って左サイドから飛び込み、宮城もノーマークシュートを弾くなど、勢い



男子優勝の神森

に乗ったまま逃げ切った。8月の全国中学総体は8強で敗れ、悔し涙に暮れた。同じコートに立った2年生らでつくる新チームの始動に、宮城は「先輩も応援に来てくれた。この大会からがスタート。しっかりと練習して一点一点大事にする」と決意。大きな目標に向けて新たな一歩を踏み出した。

引き続き新チームを率いる主将の伊禮颯雅は「しっかりと守り、速攻につながり

2年生だけで21人いる層の厚いチームに屋良徹監督